第３学年　算数科学習指導案

１　単元名　すきな物ランキング大作戦！（「表とグラフ」）
２　単元について
(1) この単元で培いたい力

本単元では，身の回りにある事象について，目的に応じて観点を決め整理した資料について表やグラフに表したり，よんだりすることができるようになることを主なねらいとしている。

児童は，これまでに、第２学年の「たんじょう日しらべ」の学習で，分類・整理する学習の中で，表や○を使ったグラフに表す経験をしている。本単元では，さらに，目的に応じて観点を決めて資料を収集し，どのようにすれば落ちや重なりがないかを考えながら分類・整理していく。そして，その結果を簡潔明瞭に記録し，表や棒グラフに表す算数的活動を通して，図表化することのよさを感じとらせたい。また，表したグラフをよみとったり，話し合ったりする活動を通して，統計的な考えの基礎を培いたい。さらに，様々な問題解決に役立てたり，生活に生かそうとしたりする態度を育てていきたい。

(2) この単元で培いたい力についての児童の実態

(3) 課題解決能力と共感性を高める支援

(ア)課題や見通しを明確にもつために

児童が興味・関心をもち主体的に学習に取り組むことができるように，単元全体を通して用いる中心資料は自分たちに関わるものとする。また，その学習で分かったことや友だちとの交流で学んだことを記入していくことで，自分の学習を振り返ったり，次の課題解決のための見通しとして生かしたりできるようにする。

第１時では，児童の好きなアニメのアンケート資料を提示することで，どのアニメが人気があるのか，資料を分類整理して調べたいという課題意識を持たせる。また，２年生で学習した誕生日調べの資料や学級委員選出時の写真を提示することで，課題解決のための見通しをもたせたい。第４時では，グラフ用紙の目盛りの数と表の数値を比べる，棒グラフをかく活動を通して，見やすい棒グラフをかくポイントである１目盛りと最高値に目が向けられるようにする。第７時では，学習の総まとめとして，今までの学習で獲得した資料整理とよりよい棒グラフの書き方のアイテムを再確認し，総合学習の表現物の目的に応じた棒グラフの作成に意欲をもって取り組めるようにする。その活動を通して，生活に生かすことへとつなげたい。

(イ)学び合い，共感性を高める場の設定

第１時では，課題解決できた児童から，スペースの交流コーナーを使って，同じ方法や違う方法で解決した友達と交流させる。それぞれの解決方法のよさや問題点を話し合わせることで，友達の考えを受け入れたり，自分の考えを修正したりできるようにしたい。第４時では，１目盛りの大きさをペアやグループで話し合っていく活動を通して，友達から学んだり，自分の意見を伝えたりできるようにさせたい。第７時では，総合学習の表現物として，かべ新聞・一人新聞・○○だよりに分かれ，ペアやグループ活動を中心に作業を行うことにより，友達のよさを学び合ったり，共によりよい方法を見つけ合ったりする場にしたい。

3　単元の目標

・３年生のすきなもの調べやその他自分が調べたい内容の資料を積極的に収集し，表やグラフに整理することにより表現物が分かりやすくなることを知り，進んで使おうとする。
・どのような表やグラフで表すと見る人が分かりやすいかを判断できるようにするとともに，資料を表やグラフに表すことのよさを見つけることができる。
・資料を表やグラフにていねいに分かりやすく表現することができる。
・資料を整理して表やグラフにまとめる過程で，見る人のことを考えて分かりやすくかくなどの，友達の表現のよさや学び方・態度を学ぶことができる。

4　単元の計画（全８時間）

オリエンテーション

総合的な学習	宇多津町の自まんを分かりやすく伝えるための新聞や〇〇だよりの表現の工夫を考えよう。

↓

次	時	学 習 活 動	資質・能力育成のための支援 ㊙課題設定能力、㊝見通し、㊕共感性	評 価 規 準
一	1	**ー表に整理しようー** すきなもの調べのアンケートを「正」の字を使って整理し、表に表す。 **（本時）**	㊙クラス全員の好きなアニメの資料をばらばらに提示し、分類・整理していく方法を考えるという課題が明確になるようにする。 ㊝学級委員の選出の経験などを話し合う中で、落ちや重なりがない整理の仕方の見通しがもてるようにする。	【関】生活場面から、表やグラフを使って整理するという課題をつかむ。 【考】落ちや重なりのない整理の仕方を考えることができる。
二	2	**ー棒グラフをよんで、かこうー** 棒グラフの意味を理解し、よむ。 （T･T）	㊕各自が工夫して作成した好きなアニメのグラフについて、それぞれのよい点を話し合う活動を通して、着眼点のよさや発想を生かしながら棒グラフへと高めていく。	【知】棒グラフの意味を理解し、正しくよむことができる。
	3	１目盛りが１のグラフをかく。 （T･T）	㊙棒グラフのかき方が分かり、棒グラフのかき方の手順にそって、１目盛りが１の棒グラフを正しくわかりやすく書くことができるように支援する。	【表】１目盛りが１のグラフをかくことができる。
	4	１目盛りが１でない棒グラフをかく。 **（本時T・T）**	㊙１目盛りを１としたのでは棒がグラフ用紙からはみ出すことから、どうすればよいかを話し合うことで、１目盛りの大きさを考えることの重要性に着眼できるようにする。	【表】１目盛りが１ではないグラフをかくことができる。
	5	自分のすきなもの調べの結果のグラフをよむ。 横型の棒グラフを知り、よむ。 （T･T）	㊝同じ資料を表現しても１目盛りの大きさの違いによってグラフが異なることから、１目盛りの大きさに着目できるようにする。	【考】分かりやすいグラフについて考えることができる。
三	6	**ーいくつかの表を組み合わせてみようー** １次元の表を組み合わせた２次元表の見方について理解する。 （T･T）	㊙３年生全体の様子が分かる表にできないだろうかと投げかけることで、調べるものの種類と組の２つの項目に着目できるようにする。	【知】３つの表を１つにまとめれば見やすくなることを理解する。
四	7	**ー総合的な学習の表現物の棒グラフをかこうー** 表やグラフについて習熟する。 自分の調べた資料を表やグラフに整理する。 **（本時T・T）**	㊕友達と協力しながら学習することで、今までの学習をさらに深めていくことができるように支援する。 ㊙自分の調べた資料を友達に分かりやすく知らせることを確認したうえで、各自の活動をしていくよう助言する。 ㊝今まで作成してきた『作戦メモ』を駆使して、分かりやすくて見やすいものにしていくよう助言する。	【関】自分の課題に合ったコースを選択し、学習をより深めようとする。 【考】【表】自分が調べたことを見る人に分かりやすいようにと考えながら表やグラフにかくことができる。
	8	友達との交流を通して、棒グラフを入れた表現物を完成させる。 （T･T）	㊕友達の表やグラフのよさを見つけることで、今までの学習をさらに深めていくことができるように支援する。	【関】【表】自分で調べたことを表や棒グラフに表すことができ、友達の表や棒グラフを見て，気付いたことを発表しようとしている。